

# 平成25年度 危機管理部 経営計画書



部署名	危機管理部
役職・氏名	部長 坪井 裕一郎

## 危機管理部 経営方針

### ● 部の使命

私たち危機管理部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす、幸せ実感都市瀬戸内市」の将来像に向かい、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取組を行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。

### ● 部の基本方針

- ①防災意識の高いまちを目指して地域防災計画の改訂を行うとともに、自主防災組織の育成、職員の災害対応能力の向上に努めます。
- ②地域みんなで防犯に力を入れるまちを目指して、瀬戸内警察署や自主防犯組織との連携を強化するとともに、防犯灯のLED化を促進します。
- ③交通事故ゼロをめざすまちを目指して、交通安全団体と連携し、交通安全教室、啓発活動を実施します。

### 部のスローガン

～安きにありて危うきを思う～ 「いざ」というときのために

### 部署内経営資源

構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	86,251 千円 ( 36,497 )千円
	5人	1人	6人		

## 危機管理部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)	
1	地域防災計画の見直し・業務継続計画の検討	東日本大震災を受け、見直しを進めている岡山県地域防災計画に準じて瀬戸内市地域防災計画を改定します。また、見直しに合わせて業務継続計画(BCP)の検討を行います。平成24年度に見直しをした岡山県の南海トラフ巨大地震による津波の想定をもとに、瀬戸内市の津波ハザードマップを策定するとともに沿岸部を中心に海拔表示板を設置します。	・防災会議の開催 ・津波ハザードマップの全戸配布 ・海拔表示 800箇所	7月、8月に南海トラフ地震の想定見直しについて市内全域で説明会を実施。合わせて海拔表示版の設置要望を取りまとめた。	県の公表遅延で、市地域防災計画の全面改訂を翌年度へ繰延べた。津波ハザードマップの校正。海拔表示の測量を完了。	市防災計画の軽微部分を修正済み。ハザードマップは広報4月号で全戸配布。海拔表示500箇所設置完了。
2	自主防災組織の育成	市民の防災意識の高揚と自主防災組織の結成促進を図るため、市内3地域で防災研修会を開催します。また、自主防災組織を牽引する人材育成のためのリーダー研修会を開催し、地域防災力の向上を図ります。	・市内自主防災組織率 70% (H24年度 63%) ・市民リーダーの養成 30名	鹿忍、長浜、本庄地区において防災研修会を実施。	鹿忍、長浜、本庄地区において防災研修会を実施。	予定地区の防災研修会は完了。自主防災組織率66.2%
3	職員の災害対応能力の向上	職員の防災意識の高揚と災害対応能力の向上を図るため、図上防災訓練を取り入れた実践型の職員研修を実施します。また実施後の研修成果と課題を整理し、市の防災体制、マニュアルの見直しを進め、防災力の強化に繋がります。	・職員防災危機管理研修会の開催 ・研修報告書の整備	7月にブラインド方式の図上防災訓練を実施し、課題の洗い出しを行った。	10・12・1月県産振財団主催のBCP研修、図上訓練実施。危機管理指針策定。	同左
4	防犯活動の推進	瀬戸内警察署や自主防犯組織等との連携を強化し、JR3駅を中心とした防犯パトロールや、青パトによる巡回等、市内の防犯活動を推進します。また、主要道路にLED防犯灯を設置するとともに、LED防犯灯を設置する自治会に対し補助金を交付し、防犯効果の向上を図ります。	・犯罪発生件数300件以内(H24年326件) ・LED防犯灯設置数(市設置管理路線) 25基 ・LED防犯灯自治会設置数 100基	9月に邑久、長船駅において自転車盗難防止活動を実施。LED防犯灯補助金122基	10月市防連主催「犯罪のない安全・安心まちづくり推進大会」後援。LED防犯灯補助199基	LED防犯灯設置補助 216灯 25年犯罪発生件数313件

危機管理部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
5 交通安全教育の啓発	正しい交通ルールとマナーを理解し、安全な行動がとれるよう、幼児期からの交通安全教室を行います。また、交通事故防止を図るため、警察署や交通安全団体と連携し交通安全教室や啓発活動を実施します。	・市内人身事故発生件数 160件以内 (H22年度 224件) (H23年度 190件) (H24年度 179件)	4月、9月の交通安全県民運動に合わせ、飲酒運転防止、踏切事故防止等の交通安全啓発事業を実施した。	10・11月高齢者事故防止、夜光反射材の着用促進街頭指導。11・12月、早めのライト点灯街頭啓発活動実施。	市内交通事故発生件数 25年189件